

市内で行われた活動やイベントを紹介します。

まちの顔

MACHI NO KAO



協力してタラをさばく児童



カワハギを刺身にする児童



イカ飯を作る児童



魚さばき教室

有磯小学校 2月4日(木)

タラのさばき方を真剣に聞く児童たち



カワハギを3枚におろす児童

2月4日(木)有磯小学校で魚さばき教室が行われた。岸端定置網組合の漁師の方が講師となり、5・6年生の児童がカワハギの刺身やタラ汁などを慣れない手付きながらも楽しんで作っていた。5年目の開催となる魚さばき教室、児童たちに『ふるさとを愛する心』を持ってもらうための取り組み。このような取り組みを通して、自分の身体の五感(視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚)全部で感じて、心が豊かになってもらいたいと感じ、心が豊かになってもらいたいと校長先生は話す。また、学校の目の前には大きく広がる日本海を『自慢の海』と思い、地元で捕れる魚を自分の手で調理したりするなど、地域に根付いた取り組みを通して自分の住むまちに愛着をもってもらいたい。



ちびっこ力士に胸をかす宮城野部屋の力士



白鵬関が卓球に挑戦

能登食祭市場 如月おいしんぼ市

2月13日(土)



七尾出身の元横綱輪島大士さんと白鵬関のトークショー



ちびっこ力士に胸をかす白鵬関



小さなお子さんとの記念撮影

昨年引き続き、能登食祭市場の如月おいしんぼ市に大相撲の横綱白鵬関が訪れた。会場内は白鵬関を一目見ようと多くの観客で賑わっていた。トークショーでは、七尾市出身の元横綱輪島大士さんと相撲トークを繰り広げたほか、ちびっこ力士と相撲で対戦。また、地元の子どもたちを相手に卓球に挑戦するなど会場を沸かせた。当日は、白鵬関が所属する宮城野部屋のちゃんこ鍋の振る舞いや、子どもたちの写真撮影会でも盛り上がりを見た。



1月25日:エレガントなぎの浦

1月25日(月)、高橋好江さん(明治38年1月24日生)の105歳の誕生日を祝う会がエレガントなぎの浦で行われ、武元市長がお祝いに訪れた。高橋さんは市内で2番目の長寿者。「家庭を支えるために気丈に生き、もったない精神でここまでこれた」と家族の方は話していた。

105歳お誕生日おめでとう
高橋好江さん



1月23~24日:能登中島駅周辺

「七尾湾能登かき祭り」特別イベントが能登中島駅周辺で今年も行われた。地元の中島地区で採れたカキを炭火コンロで焼いて食べている来場者で会場は大いに賑っていた。また、カキフライ、カキ飯、カキ菜揚げなども販売され、能登かきを堪能できたのでは。

七尾の冬はやっぱり「能登かき」！
七尾湾能登かき祭り2010



2月3日:七尾サンライフ児童センター

七尾サンライフ児童センターで地元の児童たちが恵方巻づくりをした。恵方巻は、福を招く七福神にちなんで7つの具材を巻くとも言われている。児童たちは自分で作った恵方巻を今年の恵方・西南西に向かって、願い事をしながら大きな口を開けて食べていた。

恵方巻を自分で作って願い事を！
七尾サンライフ児童センター



1月31日:七尾総合市民体育館

市子連第43回卓球大会が七尾総合市民体育館で189人の参加により行われた。普段は違うスポーツをしている児童でも参加できるこの大会。あっという間に終わった試合もあれば、1点を争う白熱した試合も。この中から、松平兄弟のように将来世界で活躍できる選手が出るかも。

将来の松平兄弟を目指して！
七尾市子ども連合会 第43回卓球大会



2月13日:住吉神社(田鶴浜)

市指定無形民俗文化財「田鶴浜の左義長」が今年も住吉神社境内で田鶴浜壮年会によって行われた。各家庭で作られた御赦免という飾りを取り付けた孟宗竹が、8町会から集められる。近年は作ってくれる家庭が徐々に減っているという。地域全体で古き良き伝統を守り続けてほしい。

邪気払いと、五穀豊穡の願いを込めて
田鶴浜の左義長



2月7日:能登島向田町地内

昨年引き続き「能登島」ごっつおまつり「が能登島向田町で行われた。イベント会場ではたら汁やカキの販売などで賑った。また「島宿せがわ」では起舟御膳が出され、参加者はたらづくしのご馳走を「たらふく(鱈福)」食べて、幸せそうな顔になっていた。

たらをたらふく召し上がれ！
能登島ごっつおまつり